

# 宇都宮大学教育学部附属小学校



## 【参観者約 1000 名の公開研究発表会】

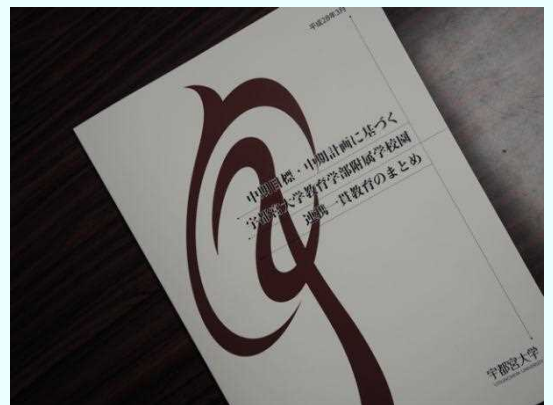
6月の公開研究発表会には、全教科領域に渡って37授業を3日間に分けて公開する。県内外の教員、教育委員会関係者、大学関係者、学生等、約1000名の参加者がある。また、その成果を県内の小学校教育研究会や学会などで発表したり、雑誌・本で実践紹介したりしている。

8月には、若手教員向けのセミナーを実施している。アンケートでは、「満足」「ほぼ満足」が100%という結果が出ている。また、「授業で実践してみたい」「昨年度のセミナーの実践をした」という声が多数あった。

## 【大学・附属が一つのチームとなる新研究組織】

平成17年より本学校園では、「連携・一貫教育」について月に1回程度研修を行ってきた。8つの実践班を設け、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、大学の教員が研究を進め、その成果を毎年冊子にまとめ、教育委員会を始め関係諸機関に配布してきた。

現在は、大学と附属学校園の連携をより強めるために研究組織の再編について検討している。その中で、連携だけでなく地域に貢献できる附属学校園、附属学校園の一貫教育を目指しプロジェクトチームで改革を進めているところである。



## 【学校・PTA・評議員が一体の学校運営】

昨年度より、PTAが主体となつての活動が活発になってきている。学校運営に関しても、PTA役員、学校評議員、学校側で会議を何度も持ち、子どもたちにとってより良い学校運営について話し合いを重ねてきた。その中で、特に防犯に関してPTA役員が自発的に改革を行ってきた。その一つが、これまで教職員が毎日行ってきた登下校時の立哨指導を全保護者が輪番制で行うようにしたことである。このことによって、教職員の業務削減につながるのと同時に、保護者の登下校の安全・マナーに関する意識が高まってきた。

## 【子どもにかかる時間を生み出す業務改善】

4年前より、職員会議等で話し合いながら業務改善を進めてきた。現在は、学校全体の課題として校務分掌に「学校改革委員会」を位置づけ改革を進めている。具体的には100以上の項目について削減・改善を行い、職員の負担軽減を図るとともに、生み出した時間を子どもたちのために使えるようにしてきた。削減・改善点の一部 ↓

- ・業務支援ソフトの導入
- ・wifi環境の充実
- ・全教員タブレット配布
- ・教育課程表→余剰授業、行事カット
- ・研究活動の見直し→指導案形式簡略化、会議時間減等



〒320-8538 栃木県宇都宮市松原 1-7-38  
TEL028-621-2291 担当 教頭 平塚 昭仁